

# 大学図書館のミッション

(京都大学の事例を交えて)

平成21年9月

京都大学 理事・副学長  
大西 有三

# ランガナタンの図書館学の五法則

ランガナタン(1892-1972)はインドの図書館学の父と呼ばれ、コロン分類法の創始者として世界的に著名な学者。「図書館学の五法則」(*The Five Laws of Library Science*)は1928年に執筆され、1932年に発表された。

1. 図書は利用するためのものである  
**Books are for use**  
(図書館の本の貸し出し、複写など徹底利用)
2. いずれの読者にもすべて、その人の図書を  
**Every reader, his book**  
(利用者の制限を極力減らす)
3. いずれの図書にもすべて、その読者を  
**Every book, its reader**  
(司書による利用者ニーズにあった図書紹介)
4. 図書館利用者の時間を節約せよ  
**Save the time of the reader**  
(迅速なサービスやわかりやすい図書閲覧環境)
5. 図書館は成長する有機体である  
**Library is a growing organism**  
(たゆまぬ新しいサービスと利便性の向上)

# 「図書館の本質」

資料、情報を求める人々に、早く、確実に、求める資料、情報を提供するものである

本 と コンピュータ ……

どう情報を得るか

問題となっているのは、様々な情報をどう選択し、それをどう解釈し、どう生かすかである

# 調べる・検索する・ サービスを受ける

- Google や Yahoo による検索と  
その他のサービス(Amazon など)

社会の大きな変化

デジタル化された雑誌、書籍

アナログ、紙媒体は、必要か？

- 大学図書館のサービスは対抗できるか  
過去の資料の蓄積からの脱却？  
将来への展望は拓けるか

# Google Earth page

## ググる

## Google Earth 探検、検索、そして新しい発見を

 言語を変更: Japanese

 Google Earth を  
ダウンロード

関連情報

- [観光 - 人気スポット](#)
- [特集コンテンツ](#)
- [製品比較](#)
- [3D ギャラリー](#)
- [3D モデルの作成 \(英語\)](#)
- [Google Earth コミュニティ \(英語\)](#)
- [よくある質問](#)

- [ホーム](#) **Google Earth 4 - 新機能**
- [ダウンロード](#) さらにリアルになった建物の 3D 表示

- [ロード](#) 地形や建物の 3D 表示は、Google Earth で最も人気のある機能の一つですが、この機能がさらに強化されました。今回のリリースから、多くの山岳地域に高画質の地形データが追加され、"テクスチャ付き"の 3D 建物表示がサポートされます。テクスチャ付き表示では、レンガやガラスなどの建築素材がリアルに再現され、まるで実世界のような 3D イメージを表現できます。

- [製品](#)
- [ツアー](#)
- [サポート](#)



地形の 3D 表示 - 画像をクリックして動画を再生

テクスチャ付きの建物 - 画像をクリックして動画を再生

### 地理情報の作成と共有

何百万人ものユーザーが、.KML という Google Earth のファイル形式で、地理情報を作成し、共有しています。Google Earth 4 では、この機能を拡張しました。旅行の写真、GPS からアップロードしたハイキング コースの軌跡、好きな画像を使ったオーバーレイ、大きな地理的データのセットなどを表示することができます。データにタイムスタンプを付けて、世界が時間の経過とともにどう変化したかを示すアニメーションを作成することもできます。代表的な例は、[Google Earth Showcase](#) でご覧いただけます。



画像をクリックして動画を再生

[2004年の世界天気図を時系列アニメーション](#)
[1946年のサンフランシスコのイメージオーバーレイ「ウォーの前後」](#)

# Google は「知」にあらず (東大 小宮山 前総長)

\* 知りたい情報は Google で検索できる・・・知識

\* Google は、知的関心の答えを出さない

\* 関連する情報をリンクでまとめることを、

統合化とは言わない

\* 知りたい情報を深める作業は、自分でやるしかない

知の構造化という作業

## ネットワーク時代における図書館の意義

Web上の情報と異なり、実の情報(図書)に触れることにより、「自分にとって本当に必要な情報かどうか」能動的に行動でき、生きた情報を手にできる

図書館という知的空間において、知の世界がどういうものなのか、気づかせてくれる

図書館や博物館では、人間の叡智の積み重ねをバーチャルでなく、肌身で感じることができる

従来型の図書館 <---> 電子図書館

図書館本来の機能 = 教育研究支援機能

# 大学図書館のミッション

## ◎ 学習図書館機能

学生の勉学支援、教育に貢献

学生へのサービス

## ◎ 研究図書館機能

研究サポート、教員の利便性向上

教員など研究者へのサービス

## ◎ その他

学外者(卒業生等)へのサービス

情報発信など

具体策？

大学の目標・計画に整合

# 大学図書館の教育的機能

## 情報リテラシー

コンピューターリテラシー

図書館リテラシー

## 図書館オリエンテーション (library orientation)

- ・図書館の認知、施設やサービスの案内

## 図書館利用指導 (library instruction)

- ・図書館の使い方

## 文献利用指導 (bibliographic instruction)

- ・文献(資料・情報)の探索法を教育

## これからの情報リテラシー教育

「図書館(図書館で利用できる資料・情報)」に関係する事柄に留まらない  
インターネットで調べるデータベース・・・図書館でなくてもよい  
学内全体で情報リテラシー教育に取り組む体制の構築が必要

# 京都大学を取り巻く大きな変化

国立大学法人化、予算(運営費交付金)の減少  
競争原理の導入

様々な角度からの評価

中期目標・中期計画

今後の少子化の影響考慮(入学定員など)

教育改革の推進

教育に重点を置く方向・・・JABEE ほか

特色ある大学・大学院教育支援プログラム

専門職大学院

情報化(電子化、マルチメディアなど)

国際化

＊ ＊ 図書館利用者の声 ＊ ＊

# 利用者の声

1. 部局の図書館・室機能が貧弱
2. 学内図書館がいろいろな点でサービスが悪い  
硬直化した利用条件
3. 他部局の資料が使いにくい
4. 開館(利用できる)時間が短い
5. 余った蔵書を引き取るスペースがない
6. 求める資料の検索がしにくい
7. 情報システムが充実していない
8. 蔵書が不十分
9. 図書系職員の役割が未定義

# 京都大学における学術情報資源整備の 問題点の整理

- ・ 急速な情報化、組織の変化、利用形態の変化
- ・ 対応部局の錯綜（図書館、学術情報メディアセンター、各研究室）
- ・ 電子ジャーナルと紙媒体
- ・ 法人化に伴う予算配分形態の変化
- ・ 京大独特の外国雑誌調整方法

# 京都大学図書館の課題

## ● 電子化

- デジタル・コレクション形成(「電子図書館」)
- 電子ジャーナル／Data base、機関レポジトリ、e-Book
- 情報システム開発・運営体制(含む:借料の統合)
- 認証システム導入 → 不正利用対策、EJ課金

## ● 学生サービス

- 学生用図書・雑誌・AV、閲覧席、e-Book
- 共通教育用図書館
- 授業コンテンツ、コースウェア

# 京都大学の学術情報インフラ整備の課題

## 学術情報基盤（個別に対応）

1. 電子ジャーナル
2. データベース
3. 目録遡及入力
4. 大型コレクション・高額図書資料等
5. 学生用図書の充実

まとめとして:

## 図書館の状況

予算の緊縮化

スペースの狭隘化

電子化やインターネットへの対応遅れ

図書館変革への学生や教職員の無関心

## 未来へ向けて

館長の強いリーダーシップと迅速な対応

図書館員との共通認識共有

そのためには、大学図書館として明確な**将来**

**ビジョン**の策定が必要

# 全国的連携の強化

## 1. 国立大学図書館協会（平成16.4～）

- ・電子ジャーナル・タスクフォース等の活動継続と強化
- ・職員の採用、育成に係る対応など

## 2. 地域連携の強化

- ・国公立大学の新たな連携協力組織
- ・大学コンソーシアム京都との積極的連携など

# 京都大学には、図書館機構 というものがあります

全学責任事業と 部局責任事業と を区別して実施

任務

1. 全学責任事業の実施に関する、附属図書館及び部局図書館・空間における連携及び調整
2. 図書館機能を有しない部局への支援
3. 図書館機能に係る情報技術に関する、情報環境機構との調整

利用者の声に答えよう  
図書館サービスの一層の向上に努めよう

# 京都大学の蔵書

- 1897年(明治30年)京都大学創立
- 1899年京都帝国大学附属図書館創立
- 1908年附属図書館商議会規程制定
- 蔵書集計
  - 1934(昭和9)・・・100万冊
  - 1971(昭和46)・・・300万冊
  - 1991(平成3)・・・500万冊
  - 2008. 4(現在)・・・630万冊以上**
- 特徴 基本図書、古典籍、大型コレクション他各種特殊コレクション、学術雑誌(理工学系外国雑誌センター館＝全国共同利用)、
- 電子的情報資源(電子ジャーナル、データベース、貴重資料画像など所蔵資料の電子化資料)

附属図書館と部局図書館に分散

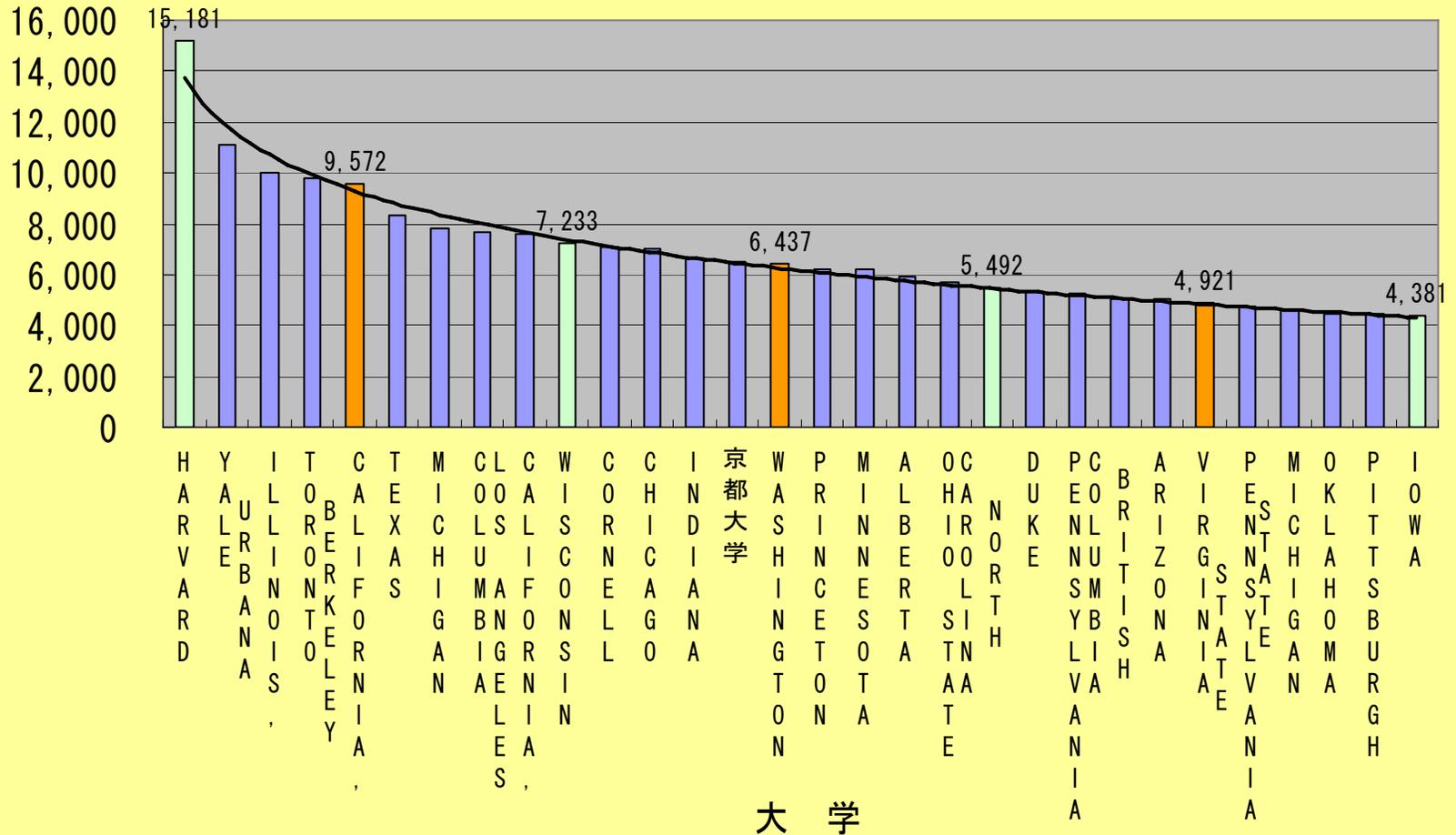
蔵書数を誇る時代ではなくなる・・・電子化

# 京都大学(蔵書 6,300千冊)は？

USA大学蔵書  
量

蔵書量 (千冊)

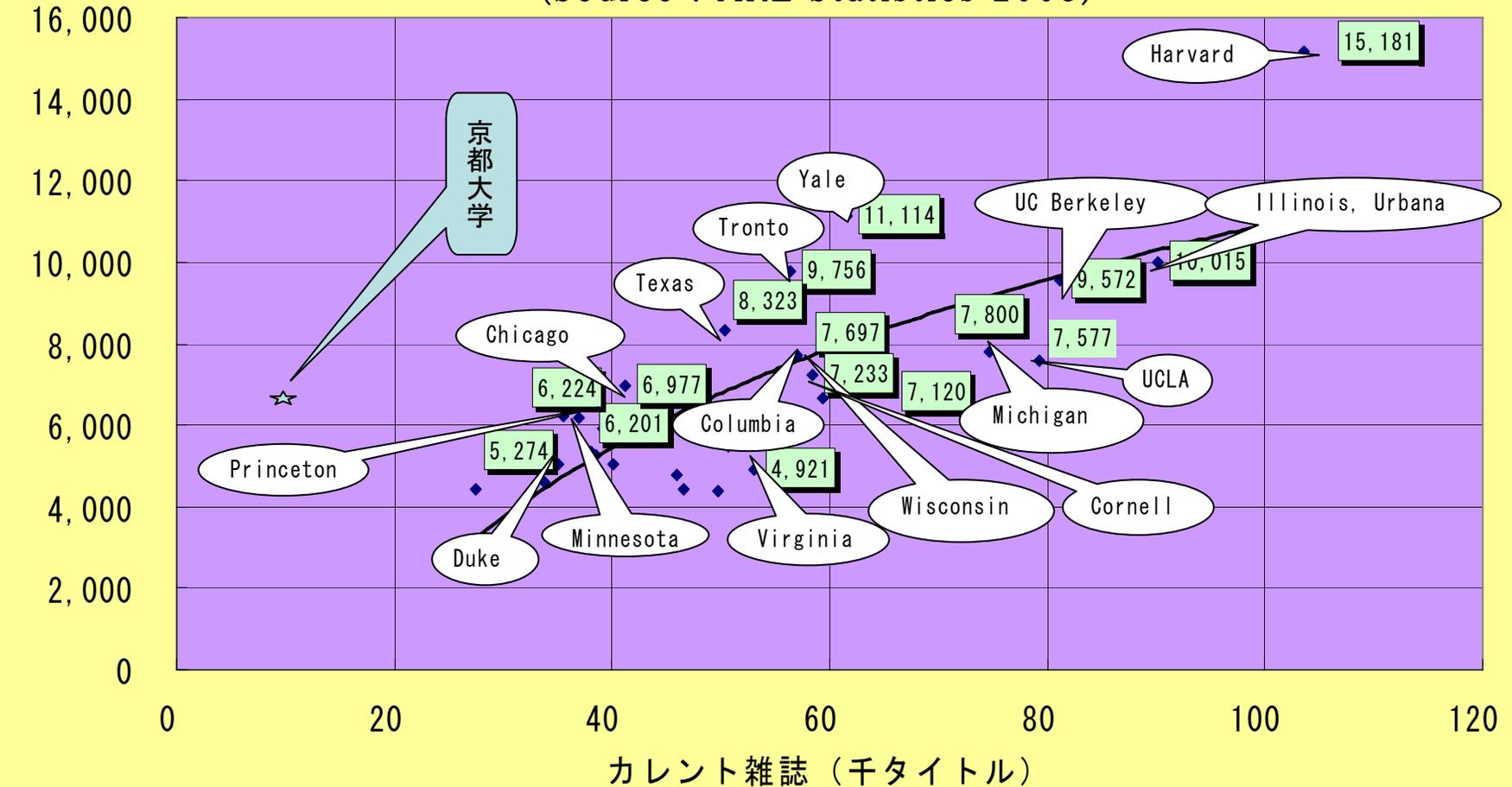
米国大学の蔵書量(Source : ARL Statistics 2003)



# 京都大学( 蔵書 6,500千冊、カレント受入雑誌\*1 11,060タイトル )は？

米国大学の蔵書量：図書とカレント受入雑誌数  
(Source : ARL Statistics 2003)

蔵書 (千冊)



\*1 カレント受入雑誌数とは、寄贈・購入・重複も含めた総合計

蔵書+雑誌数

# 学生向けの事業

## # 学部生向けの学習図書館:

拠点キャンパス毎に整備

学生図書の実充(学生満足度の向上)

全学拠点図書館方式で重点的に充実

## (効果)

1. 蔵書の計画的整備が可能になる (重複購入を避ける)
2. 学部生の居場所を学内に計画的に整備できる
3. 講義棟、教務関係も隣接させると更に学部生にとって有意義  
(「学生・学習センター(仮称)」構想)
4. 運営経費の対費用効果も向上

## 図書館資料の提供

### 資料の提供

学習・研究用資料	学習用図書など約10万冊 [開架図書フロア：2F]
参考調査用資料	約3万冊の参考調査用資料 [参考図書コーナー：1F]
CD, DVD&VIDEO	音楽CD、DVDソフトやビデオテープ [メディア・コモン：3F]
各種コレクション	
貴重資料	図書や特殊資料、特殊文庫など多くの貴重資料 [p.6参照]
国宝・重要文化財	国宝「今昔物語集 鈴鹿本」など41種181冊の国宝・重要文化財の古典籍 [p.6参照]
学術雑誌	国内外の23,828誌の雑誌
理工学系外国雑誌 センター館雑誌	全国共同利用を目的とする576誌のレアジャーナル：[1F]
マイクロ資料	新聞、貴重資料などのマイクロ資料：[B上]
大型コレクション	全国共同利用を目的とする各種コレクション

## 情報の提供と探索支援

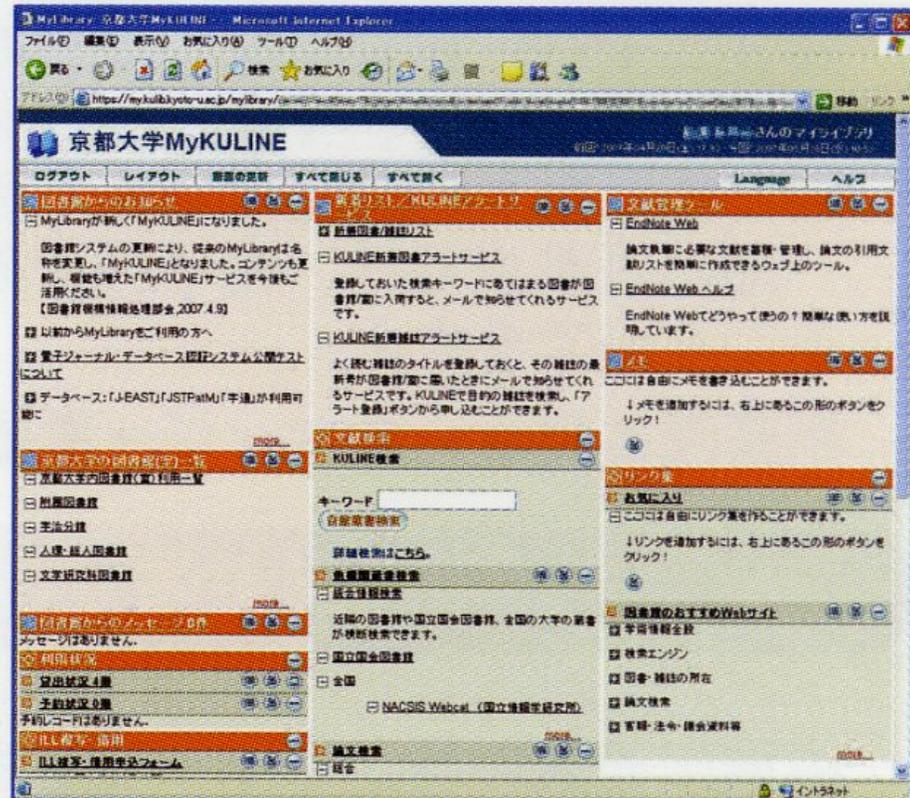
資料調査や情報探索支援	書誌情報調査や図書館利用を支援
図書館講習会	OPAC基礎講習会、Web of Science講座、電子ジャーナル入門講座 その他、希望に応じた内容の講習会を随時開催
資料の所在調査支援	
OPAC	インターネットを介してオンライン所蔵目録を提供
情報検索	国立情報学研究所や商用データベースの検索支援
所蔵調査	図書・雑誌などの所蔵・所在情報の提供
学外の資料の入手	
ILLシステム	文献複写・現物貸借サービスを中心とした全国図書館間の相互協力システムに参加 国内外の図書・雑誌の複写物や現物の取り寄せ
貴重資料画像	貴重資料などの画像データを作成し、電子図書館コンテンツとして提供 [p.5 参照]
公開企画展・記念講演会	毎年1回の企画展及び記念講演会を開催 [p.3 参照]
附属図書館セレクション	年間3～4サイクルで常設展示：[1F]

# 京都大学MyKULINE

URL: <https://my.kulib.kyoto-u.ac.jp/mylibrary/>

アカウント要

図書館が提供しているさまざまなサービスに一度でアクセスでき、しかも自分でレイアウトのカスタマイズができるウェブ上のツールです。借りている図書の返却期限を確認したり、貸出更新もできます。



## 館内の施設・設備

### メディア・コモン (3F)

利用時間：平日9:00-21:30/土日祝10:00-16:30

音楽や映画鑑賞、語学学習などに利用できる部屋で、多目的視聴覚ブース32席のほか、50インチのプラズマディスプレイがあります。メディア・コモン内にあるCDやカセットテープは自由に利用してください。ただし、貸出はできません。DVDは、1階のカウンターで出納します。

防音装置を施したメディア・シアター(10席)は、貸出・返却カウンター(1F)で予約を受け付けています。

### 研究個室・共同研究室 (3F)

利用時間：平日9:00-16:45

研究個室(7室)は、大学院生と教員が、研究・調査のために利用できる個室です。

共同研究室(1室)は、グループでの共同研究・学習などのために約20名まで一度に利用することができる部屋です。

これらの利用は、貸出・返却カウンター(1F)にお申し込みください。

### PC、インターネットの利用

アカウント要

#### ◇無線LAN (各階北エリア)

各階北エリアに情報環境機構のアクセスポイントが設置されています。ご自分のノートパソコンを持ち込んでご利用できます。

#### ◇PC、情報コンセント

情報端末室1、2 (3F)

利用時間：平日9:00-21:30/土日祝10:00-16:30

情報環境機構のオープンスペースラボ(OSL)として、インターネットに接続した76台のコンピュータ端末があります。

また、3階の閲覧席にはノートパソコンを持ち込んでインターネットに接続可能な有線の情報コンセントが24口あります。

# メディア・コモン



# 図書館のレファレンス・サービス

利用者と情報源との仲介  
質問回答サービス

デジタル・レファレンス へ向けて

## 課題

- ・レファレンス質問への回答の質の保証
- ・利用者の個別性とレファレンス質問への回答
- ・レファレンス担当者の専門性

表9-1 デジタル・レファレンスの特性

項目	デジタル・レファレンス		伝統的なレファレンス・サービス
	特性	方式・事例	
相互作用	非同期・間接	<ul style="list-style-type: none"> <li>• e-mail</li> <li>• WWW</li> </ul>	同期・直接
	同期・間接	live reference	
サービスの時間・場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 非限定 (24時間 / 7日間、遠隔利用)</li> </ul>		開館時間内・館内
レファレンス質問の類型	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 調査質問</li> <li>• 探索質問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• e-mail</li> <li>• WWW</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 案内指示的質問</li> <li>• 即答質問</li> <li>• 探索質問</li> <li>• 調査質問</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 即答質問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• live reference</li> </ul>	
情報源	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 所蔵レファレンス資料</li> <li>• 商用外部データベース</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 所蔵レファレンス資料</li> <li>• 商用外部データベース</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Web上の情報源</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• MARS Best Web Reference Sites</li> </ul>	
他館との協力関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 質問回答事例のナレッジベース化</li> <li>• 質問の転送による協同デジタル・レファレンス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• QuestionPoint</li> <li>• レファレンス協同データベース事業 (NDL)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 質問の照会による協力レファレンス</li> </ul>

# 電子ジャーナルの特徴

## 桂キャンパス

図書館・  
各研究室

## 宇治キャンパス

宇治分館・  
各研究室

- ・ 24時間利用可能
- ・ 京大のどこでも
- ・ 京大構成員の誰でも
- ・ デジタルデータ
- ・ 高度な検索機能
- ・ 関連文献との相互リンク

遠隔地  
研究施設

遠隔地  
研究施設

## 吉田キャンパス

各研究室

図書館・室

# 資料の収集にかかる労力の差

同じ規模の大学の学生なのに



電子ジャーナル5,000タイトル  
無いものは文献複写依頼で  
他大学から取り寄せる  
時間、手間、経費がかかる

電子ジャーナル16,000タイトル  
サクサク検索、効率よく  
多数の論文をチェックできる



# 教員も資料の収集にかかる時間が...

講義



研究



学会



ただでさえ時間が無いのに



人海戦術？

効率的な  
資料集めは  
どちら？

電子戦術？



# 電子ジャーナルの安定提供と強化

24時間いつでもどこでも利用できるEJの利便性、速報性

## 1. 電子ジャーナル主体契約移行:

(基盤強化経費＋部局分担経費の共通化)

提供タイトルの充実・強化

2006年度から基盤強化経費の措置実現

8,500タイトル → 25,500タイトル達成

## 2. 外国雑誌業務センターの設置

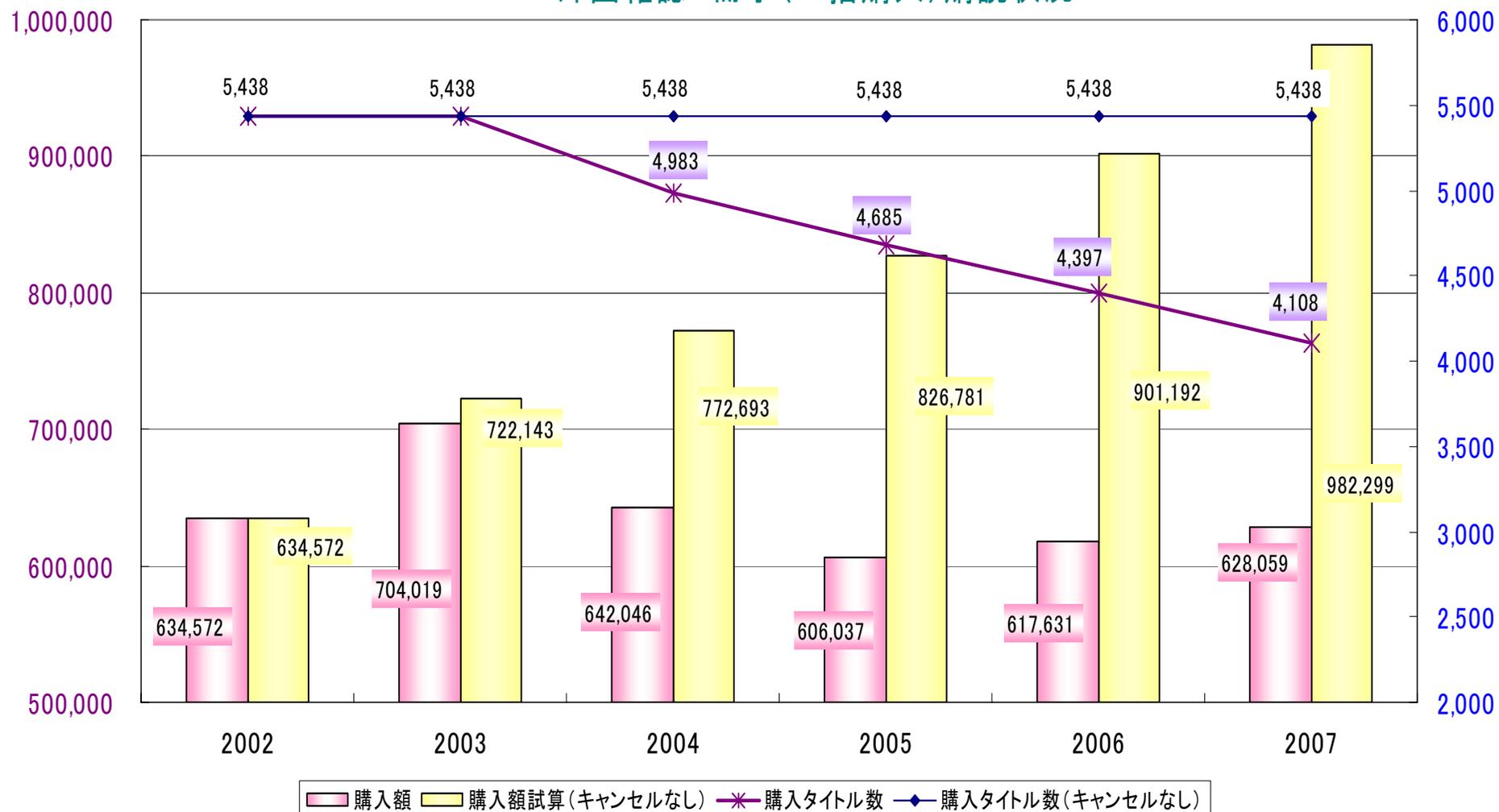
契約業務の整理、一括化、契約情報等の共有

## ★今後の計画

残る部局独自購入分の共通化対応等

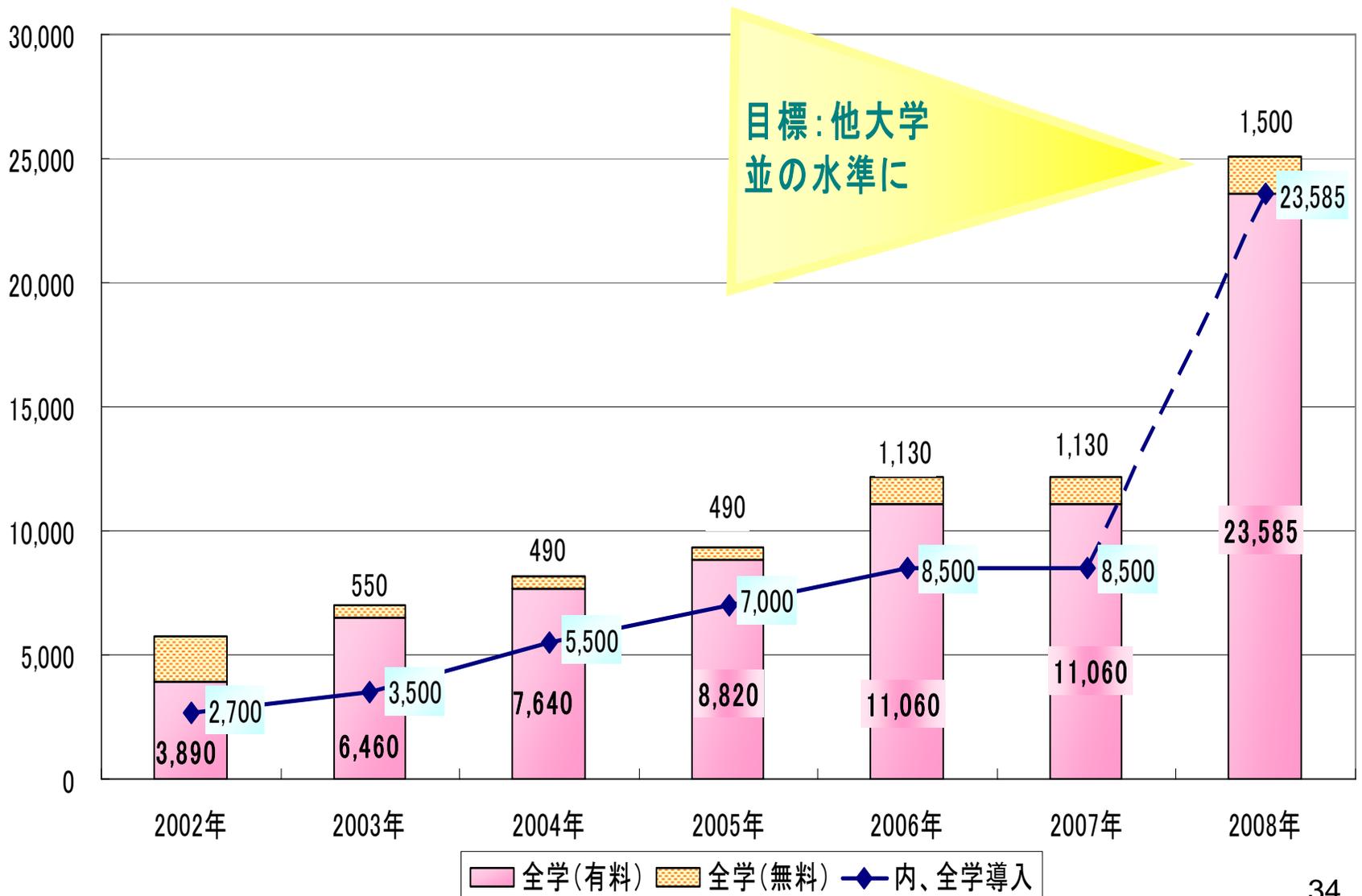
# 2002-2007年の本学購入状況の危機的变化

## 2002-2007 外国雑誌 冊子(一括購入)購読状況



冊子購入部数は1,200部以上減少しているが、購入額は減っていない

# 電子ジャーナルタイトル数の推移



# もう一つの重要な電子情報 DataBase 提供状況

- ・ 全学オンライン提供
- ・ 図書館協議会対応：16種（2003年以降）
  - （総合分野） Web of Science
  - （人文・社会） LexisNexis Academic
  - Early English Books Online
  - Economist Intelligence Unit など
  - （STM分野） SciFinder Scholar
  - Biological Abstract
  - MEDLINE など

<http://ddb.libnet.kulib.kyoto-u.ac.jp/gakunaidb.html>

# 京大図書館の情報発信

Free access service for varieties of information at Kyoto University

## 1) 貴重資料画像

国宝「今昔物語集(鈴鹿本)」や重要文化財37点など  
600種以上の貴重書の画像218,000コマを公開

## 2) 電子化テキスト(部局、事務局等学内刊行物等)の提供

京都大学百年史などの全文を公開

## 3) 京都大学博士学位論文論題一覧

新制学位(平成13年授与分までの20,049件公開)  
旧制学位(9,666件公開)

## 4) 学内研究成果(部局の研究成果情報へのリンク)

## 5) 情報配信

・電子ジャーナル

・データベース + 機関レポジトリ

# デジタル・アーカイブスの進展 (Digital Archives)

- デジタル コンテンツ  
テキスト、画像、映像、音楽
- Meta Data (データに関するデータ)  
Dublin Core: タイトル、作成者、作成年、…  
  
コンテンツの構造、管理情報、保存の履歴、  
利用条件、…

# 機関レポジトリの整備・充 実

## ● リポジトリとは？ ●

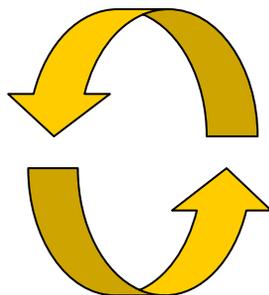
### -定義

・機関内で生産されたさまざまな電子的な知的生産物を収集, 蓄積, 保存し, 機関内外に発信, 公開するため, 機関の責任において設置, 運営されるインターネット上の電子書庫・発信拠点

### -対象

・商業雑誌掲載論文, 紀要論文, 学位論文, 学会発表資料, COE研究成果, 科学研究費報告書, 貴重資料画像, 展示会資料, 教材, 本学主催シンポジウム記録など

全世界の  
リポジトリ  
とも連携



大学における学術情報  
発信を支援する

CSI事業

NIIメタデータ  
データベース

JuNii  
(検索窓口)

メタデータハーベスティング

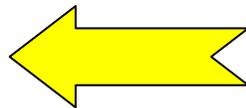
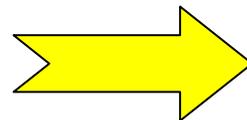
検索  
閲覧

発信

科学研究費等の  
申請に利用する

機関レポジトリ

雑誌掲載論文等研究成果  
貴重資料画像  
教材, 講義資料 等々



オープンアクセス

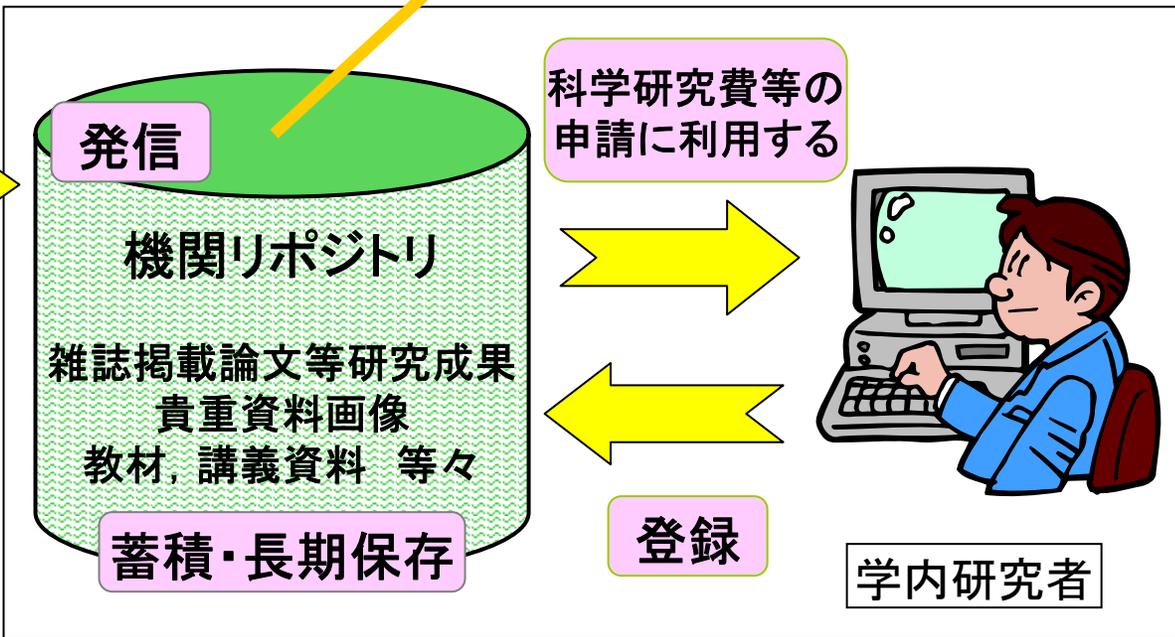
蓄積・長期保存

登録

学内研究者

学内外研究者, 一般ユーザ

レポジトリ = 電子書庫



http://ocw.kyoto-u.ac.jp/



Japanese | English

## KYOTO-U OPENCOURSEWARE

KYOTO UNIVERSITY

Welcome to KYOTO-U OpenCourseWare a free, open publication of KYOTO-U Course Materials. We invite you to view all the courses available at this time.

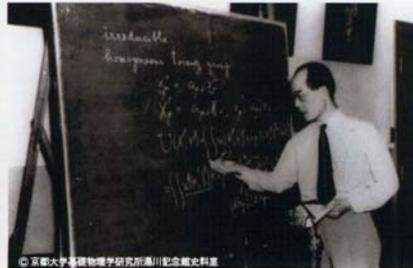
- 総合人間学部
- 文学部
- 教育学部
- 法学部
- 経済学部
- 理学部
- 医学部
- 薬学部
- 工学部
- 農学部
- 全学共通科目

- 文学研究科
- 教育学研究科
- 法学研究科
- 経済学研究科
- 理学研究科
- 医学研究科
- 薬学研究科
- 工学研究科
- 農学研究科
- 人間・環境学研究科
- エネルギー科学研究科
- アジア・アフリカ地域研究科
- 情報学研究科
- 生命科学研究所
- 地球環境学会
- 公共政策大学院
- 法科大学院
- 経営管理大学院
- 豊長類研究所
- ウィルス研究所
- 人文科学研究所
- 再生医学研究所
- エネルギー理工学研究所
- 生存圏研究所
- 防災研究所
- 化学研究所

### 京都大学大同三則

- 一、 人類の文運をたかめ、地球の輝きに貢献する。  
文運は武運の対極  
現代諸科学のいずれもが文運にかかわる。
- 一、 門外とあやなす言葉を磨き、教育は共に楽しむを旨とする。  
学の統合の鍵は言語にあり。  
よき言語による教育は単なる知識伝達にとどまらず。
- 一、 賢才が囿ることなく、奇才もまた顔色よき大学。  
学徳を評する尺度は多きを佳とするも、  
本学のそれは概ねこの三則の内にあり。

#### ・日本で最初にノーベル賞を受賞された湯川秀樹先生のオープンコースウェア



© 京都大学基礎物理学研究所湯川記念館史料室

#### ・近代日本最初の独創的哲学：京都学派を築いた西田幾多郎先生のオープンコースウェア



#### 京都大学OCWへようこそ。



この京都大学OCWは、京都大学で講義に利用している教材をインターネットで公開するプロジェクトです。学内の学生、教職員、他大学の学生、関連学会の研究者、京都大学を志願する高校生、さらなる学習を志す社会人など、あらゆる方々に京都大学の講義内容を知っていただくことを目的とします。これによって、広く社会に貢献するだけでなく、ウェブにおける知的資産の蓄積に貢献することを目的としたプロジェクトです。この知的資産の世界を十分に楽しんでください。また、内外に多くの方々に宣伝して下さるようお願いいたします。

京都大学  
総長 尾池和夫

#### アンケート

あなたの身分を教えてください。

- 社会人
- 大学生
- 高校生
- 中学生
- 小学生

OCWを改変して利用したいですか？

- したい

この日本有数の百貨店戦地で、これまで「三は苦戦を余儀なくされだろろう」（在阪百貨店幹部）との見方が多かった。これが伊勢丹主導切り替わり、しかも百貨店と専門店の一体運営踏み出す見通しとなったことで、競合店には大きな脅威となる。

「圧倒的な規模をもつ一帯一帯の地位をさらに高める」（エイチ・ツ・オー）、「梅田店を西における中心と位置づけ、徹底的に戦つ」（大と、改めて対抗意識鮮明にしている。

一四年春までに阿倍野本店を十萬平方メートルと五割倍する近鉄百貨店も「伊勢丹はファッションに定がある。当社も衣料品強化して対抗する」と構える。

大阪での競争激化は京都や神戸など近隣地区に波及する可能性が大きい。

# 日市に故安藤百福氏像 の精神、永遠に 手にチキンラーメン

初の即席めんが誕生した場所設置。世界で年一に考えていく」と心境を千億食近くが消費される商品を生んだ功績をたたえ、創業精神を消費者やグループ社員に訴える。除幕式は同日始まった「世界ラーメンサミット」の一環として、十数カ国の関係者約百人が出席した。

の客が大阪まで流れるかもしれない」と危機感を強める。阪急百貨がメンス館を開いた二月、神戸地区の紳士服・洋品売上高は前年同月比で一割減り、大阪に客が流れたとの見方が出ている。

の成功体験も踏まえ、新北ビルの百貨店事業を伊勢丹との共同出資会社であるJR西日本伊勢丹に託した。今後のターミナル開発についても、山崎社長は「三越伊勢丹HDと共同で取り組む可能性はある」と話した。

## 京大講義 ユーチューブで

### 国立大初 模擬地震・手術映像も

京都大学は八日、動画共有サービス「ユーチューブ」を運営するグループと提携し、講義などの映像コンテンツの配信を始めたと発表した。グループはマサチューセッツ工科大学、UCバークレールなど世界の有力大学と提携し、講義の動画をユーチューブで配信しているが、日本の国立大学と提携するのは初めて。

全学部の百の講義などを公開する「京都大学オープンコースウェア」のサイトにある百九十九の動画が対象。一般ユーザーがアップする動画は十分以内に制限されているが、提携に伴い時間制限を撤廃。長時間の授業もそのまま提供する。臓器移植の手術中の映像や、地震のシミュレーション映像なども公開する。

獲得などを目的として、二〇〇五年にオープンコースウェアを開設、講義の教材をウェブ上で公開してきた。将来は全講義の公開を目指す。

高速インターネット 全室無料で使えるほか幅百六十センチと広めの用意した。女性の出者が増えているのに応じ、安全対策を強化した女性専用階も設けた。

#### 日七

### 人材育成の基本とフォローアップ

日本経済新聞社は幹部・中堅社員を対象に、部下・後輩のやる気と能力を引き出し、自らも輝くためのノウハウを習得するセミナーを開催します。

教えるのか④これであなかも成上手⑤こんな時どうする⑥部下・後輩と自分の組織の成長オフィスあん社長・松下真子

### 北浜・三越跡地 ホテル14日開業

「ホテルブライトン」長谷工コーポレーションの子会社でホテル事業を手掛けるブライトン

客室料金は一万二千二百円。九月三十日では一部客室を対象に千五百円からの特別料を設定する。

### 電子マネー、後払い

関西スーパーマーケット 八日、三菱UFJニコスと提携し、後払い式電器マネー「ピザタッチ」の導入が付いたICカードを



# 学術資料全面電子化の時代へ

- Google Printの発足と停滞
  - 図書館資料の電子化と著作権問題
- Open Content Allianceの発足
- アメリカの機関リポジトリの動向
  - 自館資料の電子化
  - 日本にとってはいつか来た道？
    - メタデータ
    - 教育利用
- 電子ブックへの展開

# 将来への模索 検索(Retrieval) から案内(Navigation) へ

- キーワードによる検索、あいまい検索、同義語検索
- KWIC索引
- Citation Index
- 全文検索
- 各種のポータルサイトの充実
- 目的別の情報の整理分類

# 電子資料を中心とした基盤整備

- 大学図書館の役割は？
  - 電子資源管理手法の確立、たとえば
    - ライセンシング資料の管理
    - 自館電子資料との接合
  - 電子資源利用環境の確立、たとえば
    - ブラウザー？ Google？
    - 論文単位、段落単位(事典項目単位)のナビゲーション
  - 図書館間協力の新しい姿
    - 文献複写サービスは不要になる
  - 大学生産資料の保存と発信のための電子化
    - 過去のもの電子化
    - 他館資料の利用促進
    - 恒久保存への共同取り組み

# 電子 vs 紙の不毛な論争

- もちろん、「紙」はなくなるならない
- しかし、紙の優位性の議論は本当だろうか？
  - 紙の方が保存性に優れている？
    - 現在は、購入者(図書館)が勝手にとっておいているだけ
    - 酸性紙、災害があればどうせだめ
  - 電子の方が脆弱である？
    - ちゃんとしたバックアップを作ることは可能。  
複製をつくることは紙よりも楽
    - 作る側が責任をもって保存
  - パラっとめくれるvsでも、検索はできない
  - 利用なき保存なし

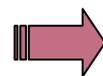
## 課題：情報の公開、独占の禁止、情報の永久保存

1. 学術誌の寡占による高い購読料・利用料金状態をどのように解決するか
2. どうしたら本来公開されている情報をオンライン情報として、より広く誰もが利用できる情報にしてゆけるか
3. 現在の電子化された情報の内、どれが永久保存すべきものであるかの判断は誰がするか
4. 現在の電子化された情報は、素子技術・システム技術の発展によって読み取り不可能になり棄てられていくのではないか

# 京都大学の図書館をめぐる課題と 将来構想策定の必要性

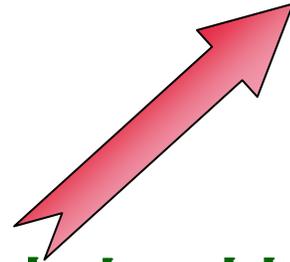
図書館機構の基本理念と目標・ミッションに基づく  
次期中期計画を見越した将来構想策定のたたき台

- 研究・教育拠点の学術情報基盤ライフライン
- 京都大学における図書館機能を、組織、財政、人事、施設・設備整備のあらゆる側面において系統的かつ戦略的に高めていく必要
- この将来構想案をさらに図書館協議会(教員)で審議、図書館業務改善検討委員会(図書系職員)で検討



図書館機構の将来構想

世界に卓越した大学へ飛躍する  
京都大学の教育・研究を支える



学術情報基盤の強化

||

図書館機能の充実



将来構想の目指すものとは・・・

# ★ 将来構想案による 京都大学図書館機構の将来像

1. 全学図書館ネットワークの整備を図る
2. 図書系職員を図書館機構の下に再組織化し、連携体制を強化する
3. 図書財源を安定的に確保し、系統的なコレクションを構築する
4. 図書館施設を量的・質的に整備する

# 今後10年間の事業目標

1. 学術情報資源の整備：予算確保と蔵書構築
2. 図書館サービスの充実：全学図書館ネットワークの整備
3. 京都大学の知的成果の発信：学術情報リポジトリの運用
4. 知的資産の保存・管理：電子図書館の運用と保存図書館の整備
5. 利用者の支援：そのためのシステムの構築とリテラシー教育
6. 人的資源の整備：組織と図書系職員の養成
7. 組織の再構築：図書館機構のガバナンス強化
8. 対外活動の推進：社会貢献と他機関との交流